

第9回 茨城県少子化対策審議会 開催結果について

- 1 日時 令和元年10月28日(月) 13:00~15:00
- 2 場所 県庁5階庁議室
- 3 出席者 審議会委員17名(欠席1名), 臨時委員4名(欠席なし)
事務局(県) 海老原子ども政策局長, 滝少子化対策課長
萩本子ども未来課長, 下山田青少年課長 ほか

4 結果

番号	事項	結果
議事(1)	・茨城県次世代育成プラン(案)について	・部会長から説明後、各委員より活発に意見交換あり。 ・委員意見を踏まえ、事務局にて原案を作成する。
議事(2) 議事(3) 議事(4)	・新計画策定部会の結果について ・少子化対策審議会認可部会及び社会福祉審議会児童福祉専門分科会保育部会の活動状況について ・「茨城県子どもの貧困対策に関する計画」の施策実施状況報告について	・審議会資料3及び4による事務局説明の後、審議を実施したところ、活発に意見発言があった。

5 委員の発言要旨(主なもの)

- 本当に働きやすい労働環境を提供して、魅力ある職場をつくっていかないと、保育人材の確保が困難になってきている。外国人材の活用についても、介護だけでなく保育分野でも間違いなく入ってくる。
- 男性保育士も減ってきてしまっている。処遇面の問題により途中で辞めてしまう。女性より男性の収入が上じゃなきゃいけないみたいな意識が、少子化をますます高めていくという問題が、男性保育士の問題にもかかわっている。
- 外国人労働者の子どもが増えているので、保育士の資格はなくても通訳を含めた保育の補助ができる人材が必要。また、市町村等においても外国人利用者向けの案内等が用意できるとよい。